

広げよう コミュニティの輪

彩の国コミュニティ協議会



CONTENTS 主な内容

② 平成22年度総会報告

- 会長あいさつ ●事例発表 ～和光市食文化研究会～
- 新しい「サイコミ君」デザイン決定!!

③ 「ありがとう運動」を展開します 市町村コミ協の魅力発見!

- 坂戸市コミュニティ協議会
- 美里町コミュニティ協議会

④ つなげよう 地域の力

～それぞれの長所を活かした地域協働～

2010.9

第29号



埼玉県のマスコット コバトン



はじめまして!
サイコミ君です!

イベントが
いっぱい!

みんなで広げる コミュニティの輪!

彩の国コミュニティ協議会 会員&賛助会員募集!!

コミュニティ活動をさらに活発にするために、協議会の趣旨に賛同し協力していただける新規会員、賛助会員を募集しています。入会、お問い合わせについては当協議会事務局まで御連絡ください。

- | | | | |
|-----|--|-------|--------------|
| ●会員 | ●対象：企業・団体 | ●賛助会員 | ●対象：個人 |
| | ●会費：企業1口5,000円を2口以上
団体1口5,000円を1口以上 | | ●会費：1口2,000円 |

賛助会員だけの入会特典

入会記念として

サイコミ君
缶バッジ(2個)を
プレゼント!

お知らせ

どしどし募りましょう!

「ブチ情報」への情報掲載を希望される会員の方を募集しています。詳細については事務局へお問い合わせください。



定期総会開催報告

まんがで
わかる定期総会!

平成22年6月10日(木)、平成22年度定期総会を開催し、多くの方々に御出席いただきました。平成21年度事業報告や平成22年度事業計画案等について審議が行われ、原案どおり承認されました。また、総会后、和光市食文化研究会による事例発表が行われました。

会長あいさつ



本日は、「彩の国コミュニティ協議会」平成22年度定期総会を開催したところ、役員の方々をはじめ会員の皆様には大変お忙しい中御出席いただき厚くお礼を申し上げます。また、日ごろ地域における防犯活動をはじめ、親子ふれあい教室といった子育て支援活動などそれぞれの特徴を生かした地域づくりに取り組んでおられます皆様の御熱意と御尽力に心から敬意を表します。

さて、平成21年度的人口動態調査によれば、埼玉県の女性の合計特殊出生率は1.28で全国39位とのことでした。特に20代で低下しており、埼玉県では今後も急速に少子高齢化が進むことが予想されています。こうした中、子育てや介護など地域の課題を解決していくためには、NPOや企業との連携、協働が不可欠です。昨年設置した「コミュニティ協議会のあり方検討会」の中で御意見をいただいたように、彩の国コミュニティ協議会にはこうした新たな地域の担い手としての「つなぎ役」としての役割が求められています。

また、これからは地域の力で社会を支え合う「共助」も、ますます重要になることと思います。コミュニティ協議会の重点事項でもあります「防犯活動」や「みどりや川の再生」はその象徴的な活動です。

県内の自主防犯グループの数は4月末で5,047団体、全国一の数を更新しております。そのほとんどが自治会や婦人会、PTAなどで活躍する方々でございます。パトロール活動の結果、平成21年度の刑法犯の認知件数はピーク時の平成16年に比べて約7万件的減少となっております。また、検挙率も最低だった平成14年の12.8%から2倍以上の27.1%となりました。埼玉の安心・安全な暮らしは皆様の地域を思う心によって支えられています。

さらに、県では子育て家族の外出を応援するために今年中に「赤ちゃんの駅」を4,000ヶ所設置することを目指し、6月から補助金の受付と登録施設の募集を開始しております。皆様の地域にも子育て中の家族がたくさんいることと思います。今後、社会で子どもを育てるというムーブメントがますます広がることを期待しております。

また、先日、県のマスコット「コバトン」が10歳の誕生日を迎えました。コミュニティ協議会のマスコット「サイコミ君」もこのたび新しく生まれ変わりました。これからはコバトンとともに地域のコミュニティ活動を盛り上げていくよう願っています。

地域の力を結集すれば、埼玉はもっと面白く豊かになります。皆様には、地域の「つなぎ役」や「共助」の中核として、地域のコミュニティ活動がさらに活発になるよう御尽力を賜りたいと思っております。会員の皆様方のますますの御健勝、御活躍を祈念して、あいさつとさせていただきます。



事例発表「食育と伝統食」和光市食文化研究会会長 加藤洋子氏

和光市では、昔から荒川沿いに人々が暮らし、味噌屋や沢庵屋など食に関する屋号を持つ家が軒を連ねていました。「100%自給自足」という背景のもと、素晴らしい食文化が展開していたといわれています。

そんな和光の埋もれた食文化を知らない新住民が増えてきたことから、一念発起して2000年に会を設立しました。食を通して先人の知恵と豊かさを学ぶことで、自分達の故郷を深く

知ってもらおうと、食文化の伝承や食育活動等に積極的に取り組んでいます。地元の幼馴染や定年退職者、PTAの仲間などで構成され、蕎麦打ちや菓子づくりなど、それぞれの特技を活かした活動を行っています。

「市民の食べるものは和光の田畑で自ら作り食卓に並べることが望ましい」という考えのもと、商工会や教育機関などと協働しながら今後も様々な事業を推進していきたいと思っています。



会員の皆さんからお菓子のプレゼント



実物のルバーブも持ちいただきました。

当日は、会員の皆さんが心をこめて作ったお菓子(ルバーブのパウンドケーキ、ゴマのクッキー、大豆のモンブラン)と新茶が総会の出席者全員へプレゼントされました。ルバーブ、ゴマ、大豆は和光の畑で採れた地産野菜です。

新しい「サイコミ君」
デザイン決定!!



彩の国コミュニティ協議会マスコット
「サイコミ君」

彩の国コミュニティ協議会設立30周年を記念し、マスコット「サイコミ君」をリニューアルしました。このマスコットは、コミュニティの持つ温かみと親しみをデザインしています。大きく手を広げたポーズは、いろいろなものを受け入れ、いろいろなものとながっていく、コミュニティ協議会を表現。胸のクローバーは当協議会が住民、企業、行政の3者から組織されていることを表しているものです。今後、様々な場所でコミュニティ活動の応援をしていく予定です。よろしく願いたします。

「ありがとう運動」を展開します

彩の国コミュニティ協議会は、コミュニティ活動のさらなる推進を図るため、「ありがとう運動」に取り組んでいます。「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えるために、「ありがとうカード」を作成しました。このカードを使って、あなたの住む街でいろいろな活動をされている多くの方に、あなたの気持ちを伝えましょう！

「ありがとう運動」について

これまで彩の国コミュニティ協議会では、豊かな地域づくりのため、市町村コミュニティ協議会への支援や、身近なところで長年地域活動を行っている個人や団体にシラコバト賞を贈るなど、コミュニティ活動の推進に努めてきました。

しかしながら、近年、少子高齢化や核家族化の進展にともない、地域コミュニティが弱体化しているといわれています。

こうした状況の原因の一つとして、地域の絆の希薄化、コミュニケーション不足が考えられています。

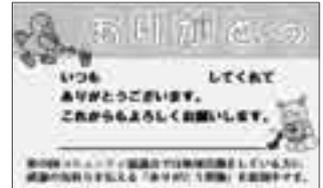
そこで、地域で様々な活動をしている方に「ありがとう」という感謝の言葉を素直に伝えることをきっかけに、地域のつながりを深め、コミュニティの活性化につなげようとするものです。

ありがとうカード

防犯活動や子育て支援活動など地域で様々な活動をされている方に、「ありがとう」の心をこめてカードを渡しましょう。

「ありがとうカード」は名刺サイズの用紙に自由にメッセージを書き込むことができるようになっています。カードのダウンロードや記入例は彩の国コミュニティ協議会のホームページから御覧いただけます。

今後、コミュニティ協議会を中心に大きなムーブメントにしていきたいと考えておりますので、ぜひ皆さんの地域でも御活用ください。



市町村コミ協の魅力発見!

坂戸市コミュニティ協議会

坂戸市コミュニティ協議会は、コミュニティ活動を総合的に展開することにより、心のふれあう住みよい地域社会を建設することを目的に昭和55年10月に設立され、現在は、地域各種団体の代表者など53名で構成し活動しています。

主な事業として、コミュニティの原点となる「人と人」との絆を再確認し、コミュニケーションを深めることを目的として、平成18年度から「愛情メッセージ事業」を実施しています。この事業は、テーマに沿った手紙形式のメッセージ(50文字以内)を募集し、読み終えた後に幸せな気持ちになれるような作品について表彰を行うものです。市の広報、ホームページなどでPRし、昨年は、約1,000件の応募がありました。応募作品は、全て素晴らしい作品でしたが、その中で特に心をうたれた、あるいは心あたたまる15作品を表彰いたしました。表彰作品は、市役所市民ホールへ展示したほか、その他の応募作品を含む200作品を冊子にまとめ各公共施設等へ配布すると共に坂戸市ホームページへ掲載し、広く市民へ紹介いたしました。

〔2009 第4回愛情メッセージ〕

テーマ あなたの絆は何ですか
～あの時言えなかった想いや言葉～



昨年度の表彰式の様子

【会長賞】

お母さんへ
母の「おかえり」は私の元氣と
幸せの素でした。
今度は、私が子供達に伝えます。
心を込めて「おかえり」と。

娘より

事務局：坂戸市市民協働推進課 TEL049-283-1331

美里町コミュニティ協議会

平成8年に発足した美里町コミュニティ協議会は、現在、町議会、区長会等をはじめとする町内13団体から構成されています。

当協議会では、訪れる人々にコミュニケーションを深める場を提供し、地域コミュニティの活性化を図るとともに青少年の体験活動を促進することを目的とした「コミュニティまつり」を主な事業として活動しています。



まつつかみどり大会

昨年はメイン企画のマスのつかみどり大会をはじめ、ウォークラリー、めだかの学校、ヨーヨー釣りなどを催し、町内外から多くの子供たちが参加し、大変賑わっていました。マスのつかみどり大会では、子供たちが一斉に生簀(いけす)に入り、マスをつかめずに立ちつくす幼児や、滑ってずぶ濡れになってもマスをつかもうと夢中になっている小学生の姿などが見られ、そばで見守る保護者達も楽しいひと時を過ごしていました。

第11回目の開催となる今年のコミュニティまつりは、町の最大イベントともいえる「町民祭」と同じ会場で盛大に開催する予定です。子供たちの好奇心を伸ばし、健やかな成長につながるような祭りになることを期待しています。

また、今年度、当協議会では美里町のマスコットキャラクター「ミムリン」のグッズ販売を予定しています。グッズを通して大人から子供までが一つの輪となり、活力ある美里町につながるような活動をしていきたいと考えています。



美里町マスコット ミムリン

事務局：美里町総務課 TEL0495-76-1115

プチ情報!

市制施行60周年記念 第31回所沢市民フェスティバル ことも広場やバザーなど、皆さんで楽しめるイベントです。

日時：平成22年10月30日(土)・31日(日) 場所：所沢航空記念公園・所沢市民文化センター

お問い合わせ先：第31回所沢市民フェスティバル実行委員会 04-2998-9083

つなげよう 地域の力ちから

彩の国コミュニティ協議会は、様々な主体が共に助け合いながら地域社会づくりが進められるよう、地域の「つなぎ役」として支援・協力を行っています。そんな地域のパワフルな活動を皆様に毎号お伝えしていきます。

ロータリークラブ、NPO、学校… 多様な団体との助け合い

蓮田市コミュニティづくり推進協議会は、地域住民が相互の連帯感を強め、創造性豊かな地域活動を営むため、潤いと安らぎのあるコミュニティの健全育成を推進しています。市内の各種分野にわたる22団体で構成しており、年間を通じてさまざまなイベントを開催しています。

それぞれの長所を活かした地域協働

～蓮田市コミュニティづくり推進協議会～

ロータリークラブとの協働「ふるさと水辺ウォーク」



平成21年5月、蓮田市コミュニティづくり推進協議会と蓮田ロータリークラブの協働により、「ふるさと水辺ウォーク」を開催しました。

蓮田市コミュニティづくり推進協議会では、平成5年から毎年11月にウォーキング大会「ふるさとウォーク」を開催してきました。しかし、秋口に同種のイベントが多いことや、春先に事業がないことなどを踏まえ、平成20年度から開催時期を秋から春に変更しました。ところが、平成17年から始まった蓮田ロータリークラブの「水辺ウォーク」が4月末に行われており、内容も重複する部分が多いことがわかりました。また、「ふるさとウォーク」も「水辺ウォーク」も、参加者が年々減少傾向にあり、100人～150人程度となっていました。そこで、試みとして平成21年は「ふるさと水辺ウォーク」としていっしょにやってみようということになりました。

行政が事務局となっている蓮田市コミュニティづくり推進協議会と、商工業につながる深い蓮田ロータリークラブとの協働となるため、それぞれの得意分野を生かして次のような分担としました。

蓮田市コミュニティづくり推進協議会	蓮田ロータリークラブ
<ul style="list-style-type: none"> 会場の確保 テント、コース案内用備品の確保 市広報媒体を使った告知 交通指導員や体育指導委員の手配 豚汁サービス 	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝用チラシ・ポスターの作成 仮設トイレの手配 過去の参加者への呼びかけ 焼きそばサービス

その結果、平成21年度の参加者数は、平成20年の両イベント参加者合計を大きく上回る447人に上り、また、会場設営費などの運営経費も大きく削減することができました。協働の成果としては、こうした数字に表れたものはもちろんですが、何よりも両団体の連帯感が醸成されたことにあります。2回目となった今年は4月末に開催、参加者はさらに増えて738人となりました。今後も両団体の協働を継続してまいりたいと考えています。

市民活動団体との協働「コミュニティ映画会」

映画鑑賞は、大勢の人が同じ時間に同じ場所で、同じ感動を共有できる貴重な機会となります。しかし、蓮田市内には映画館がありません。そこで、蓮田市コミュニティづくり推進協議会では、平成19年から家族や地域コミュニティなどをテーマとした「コミュニティ映画会」を開催することになりました。

開催に当たっては、いろいろな団体のアドバイスをいただきました。市内で「蓮田映画祭」を開催している市民活動団体「蓮田シネマクラブ」からは、映画上映会の会場設営などのノウハウを教えてください、上映作品候補の選定や当日の上映については、深谷市の「特定非営利活動法人市民シアター・エフ」のアドバイスと協力をいただいています。



また、「コミュニティ映画会」は、人にやさしい映画上映会を目指しており、車いす専用スペースの確保はもちろんですが、特長として、開会あいさつや映画全編の手話同時通訳を行っています(聴覚障がい者用字幕付き映画の場合を除く)。手話通訳の導入に当たっては、蓮田市手話通訳問題研究会及び蓮田市聴覚障害者協会の皆さんから積極的なアドバイスをいただきました。スポットライトの用意や手話通訳者の立ち位置、手話が必要なかたの座席配置など当日も綿密に打ち合わせを行い、「みんなで映画を一緒に楽しめた」と好評を得ています。

学校との協働「花いっぱい運動」

蓮田市コミュニティづくり推進協議会では、「花いっぱい運動」として、JR蓮田駅東口駅前広場で、年3回の花壇の花の植え替えと清掃、年間を通じた水やりなどを行っています。

花の植え替えは3月、6月、11月に行っており、その際、青少年の参加による世代間交流を目指し、県立蓮田松韻高校に参加を呼びかけています。同校では、「花いっぱい運動」への参加を学校活動の一環として位置付け、学校行事との重複がない限り、美化委員会の皆さん15人前後と担当教員数名を毎回参加させてくださっています。

高齢のかたや女性も多い協議会のメンバーだけでは、花の植え替えや清掃は大変な作業です。高校生の若い活力の参加のおかげでとても助かっています。和気あいあいとした雰囲気、青少年が自ら駅の落書き消しや花の植え替えを行っている姿は駅前の環境美化PRにもなっています。



蓮田市コミュニティづくり推進協議会のイメージキャラクターは、みんなで助け合いながらがんばるアヒルです。今後も、いろいろな団体との協働を図りながら、コミュニティづくりの推進に努めてまいります。



【お問い合わせ】
蓮田市コミュニティづくり推進協議会事務局
蓮田市自治振興課 048-765-1710

コミュニティマップのご案内

彩の国コミュニティ協議会発行のコミュニティマップをご覧になりたい方は、120円切手を同封の上、彩の国コミュニティ協議会事務局(右記参照)へお送りください。

県内の
イベント情報が
盛りだくさん!

